

2022年3月期 中間期 決算説明会資料

2021年11月25日



証券コード：4461（東証1部）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2022年3月期 中間期 連結決算** **P.3**
- 2. 2022年3月期 業績見通し** **P.15**
- 3. FELIZ 115計画の進捗とトピックス** **P.23**

1. 2022年3月期 中間期 連結決算

連結 業績の概要（前年同期比較）



増収増益：界面活性剤セグメントを中心としたアクチャル事業の
売上伸長と利益改善

(単位：百万円)

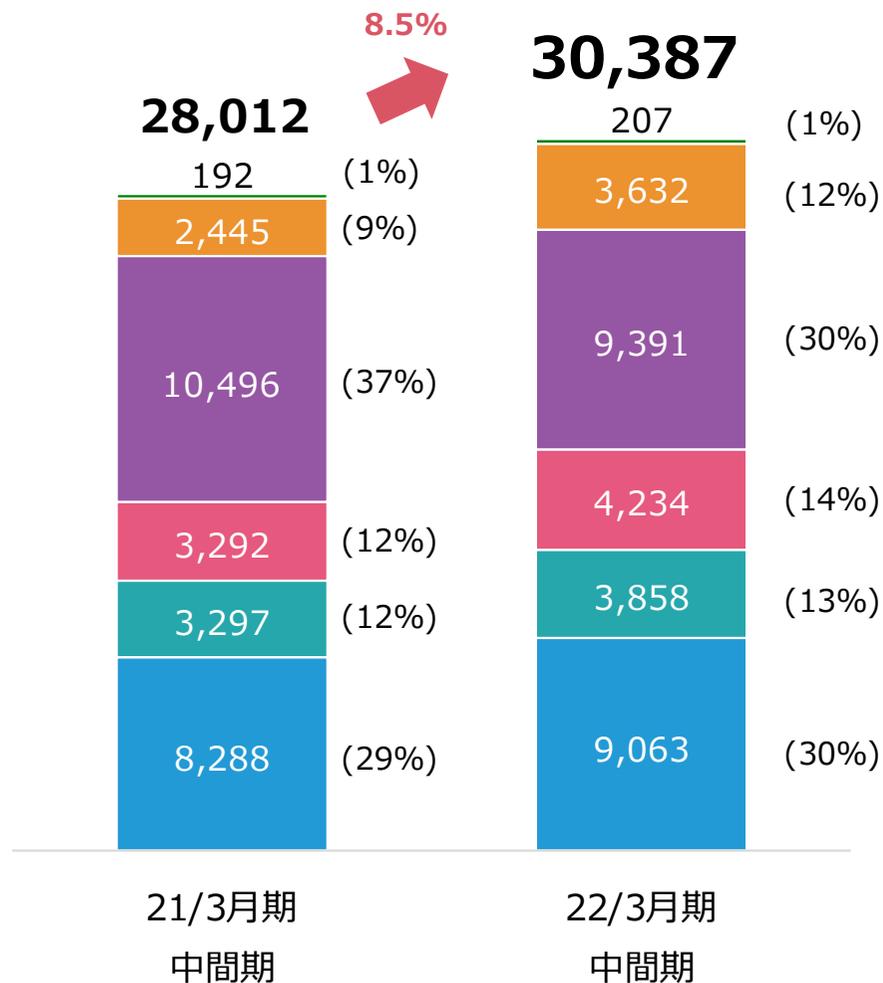
	21/3月期 中間期	22/3月期 中間期	前年同期比増減	
			金額	増減率
売上高	28,012	30,387	2,374	8.5%
営業利益	1,777	2,447	670	37.7%
経常利益	1,662	2,152	490	29.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,014	1,160	145	14.4%

増収  売上高：太陽電池用途の導電性ペーストの伸長と自動車関連分野の需要回復。

増益  営業利益：界面活性剤セグメントを中心とした営業努力による価格是正効果、営業経費の増加が最小限。

売上高

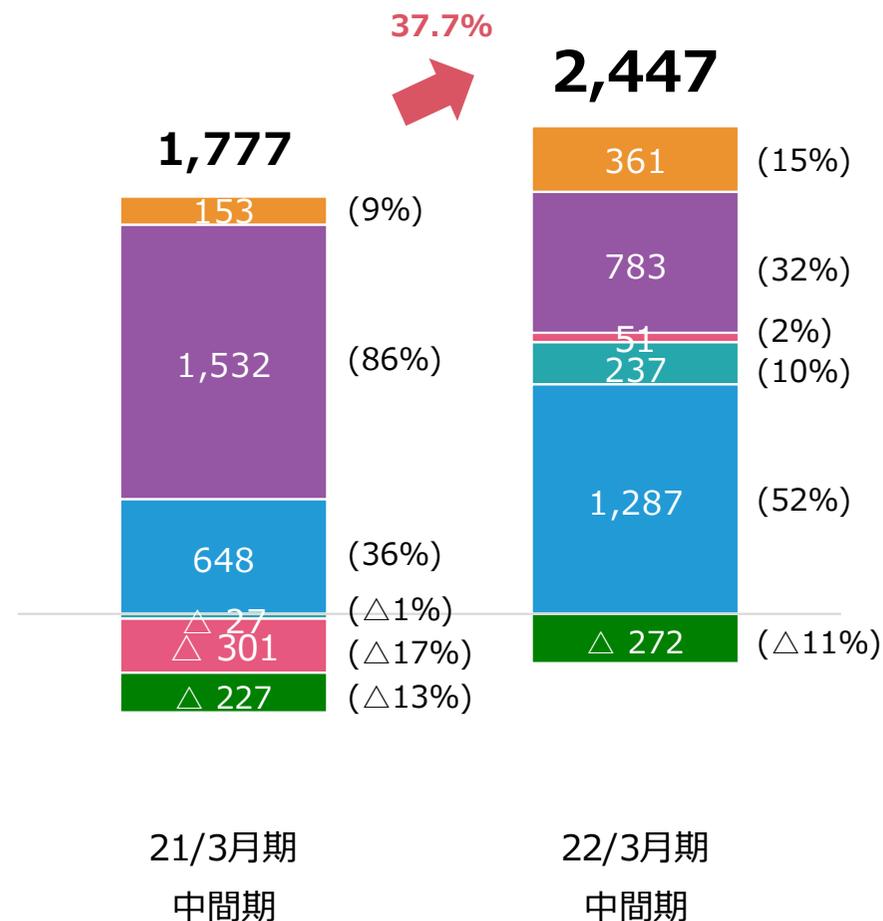
(百万円)



営業利益

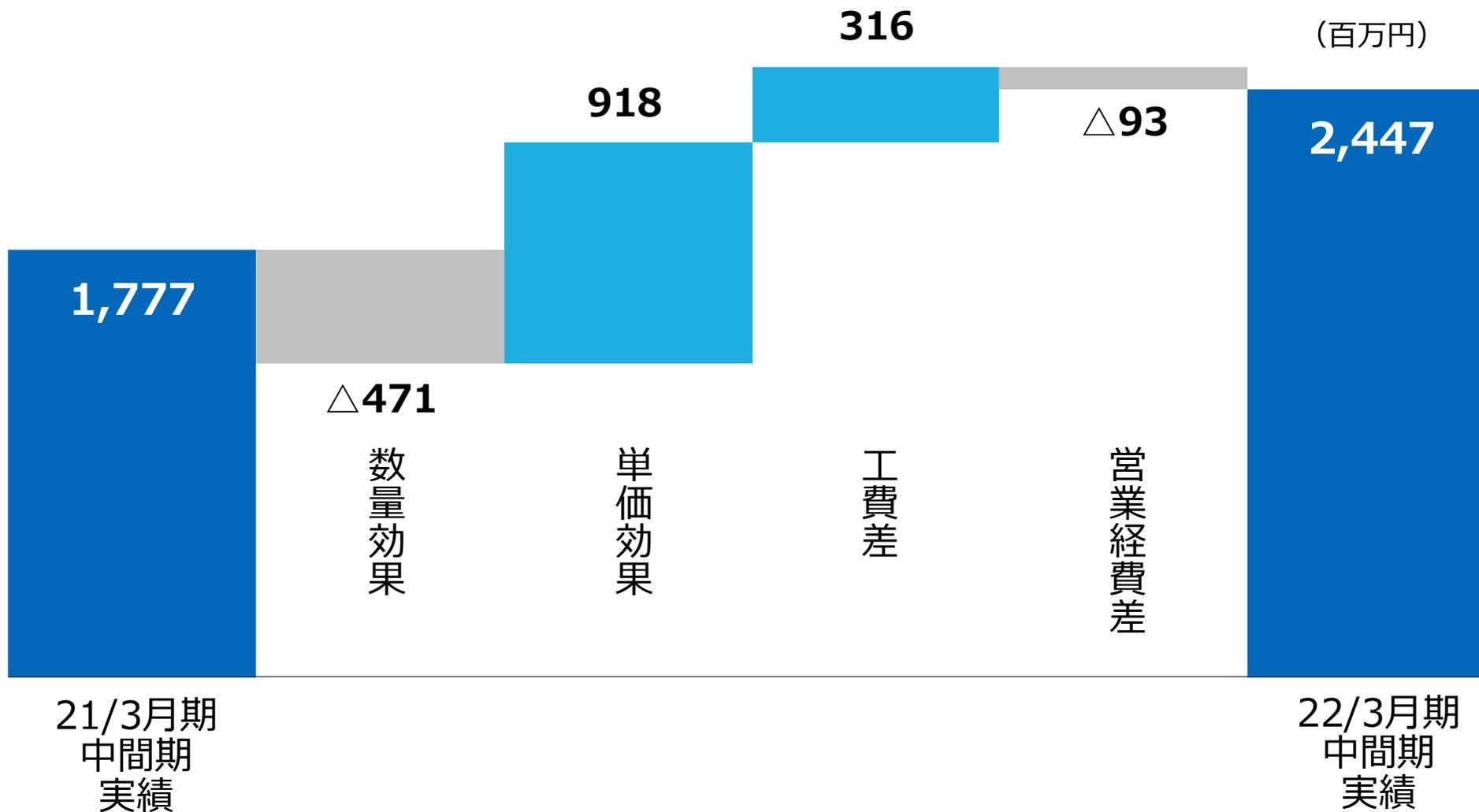
() : 構成比

(百万円)

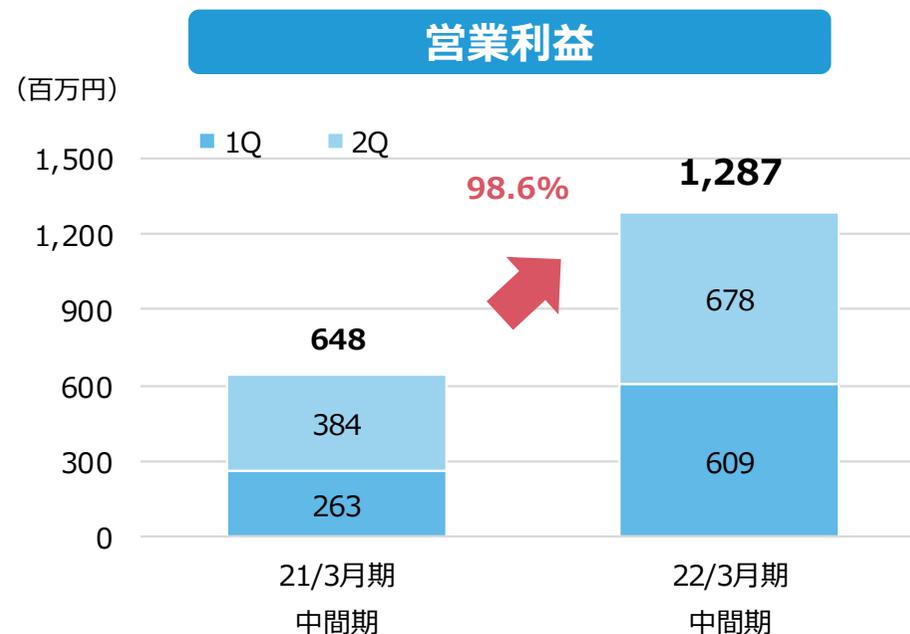
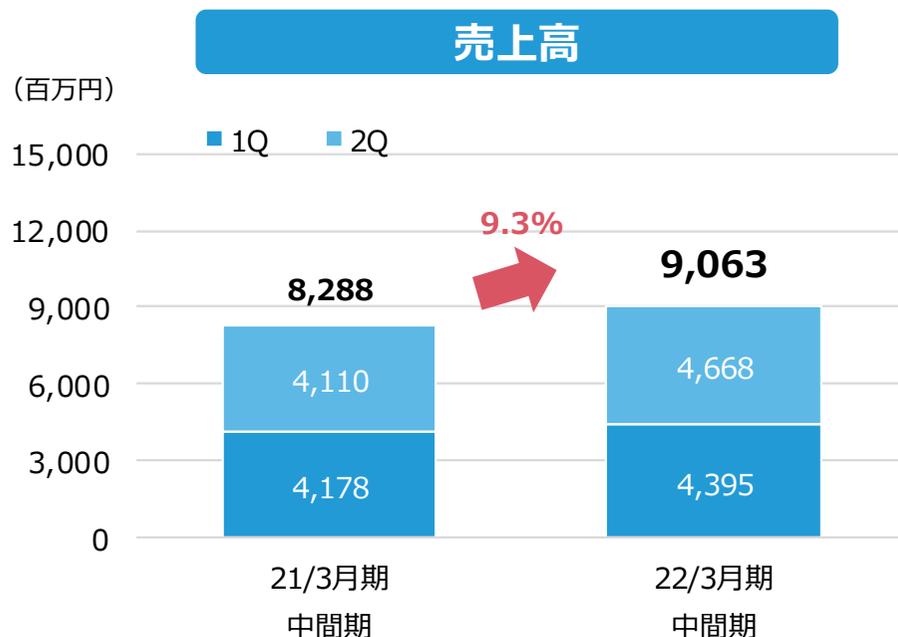


■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

*機能材料セグメント販売数量減など *採算是正活動による貢献など *光硬化樹脂の外注費減など *販売費増加など



1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- IT・電子材料用途は堅調に推移
- 石けん・洗剤用途は大幅に伸長
- 塗料・色材用途は堅調に推移

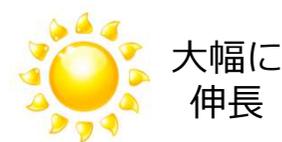
営業利益：増益

- 販売価格の是正
- 営業経費の削減

IT・電子材料用途



石けん・洗剤用途



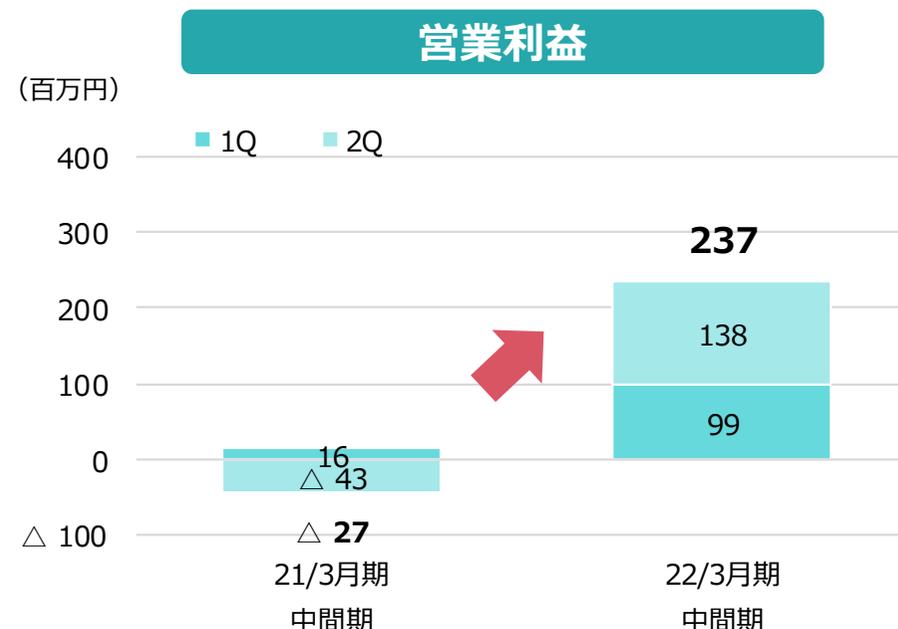
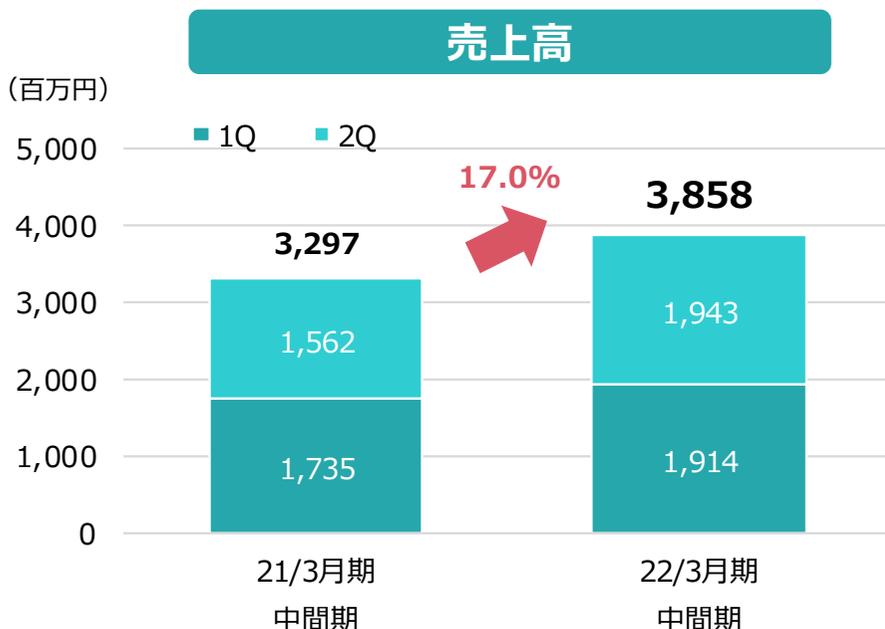
塗料・色材



連結 セグメント業績 アメニティ材料



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- ショ糖脂肪酸エステルは化粧品用途、食品用途は堅調に推移
- セルロース系高分子材料は農業・農薬用途、エネルギー・環境用途は堅調に推移

営業利益：増益

- エネルギー・環境用途の需要増加による売上高の伸長
- 営業経費の削減

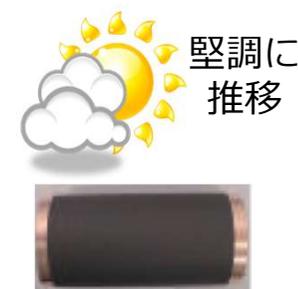
化粧品用途



食品用途



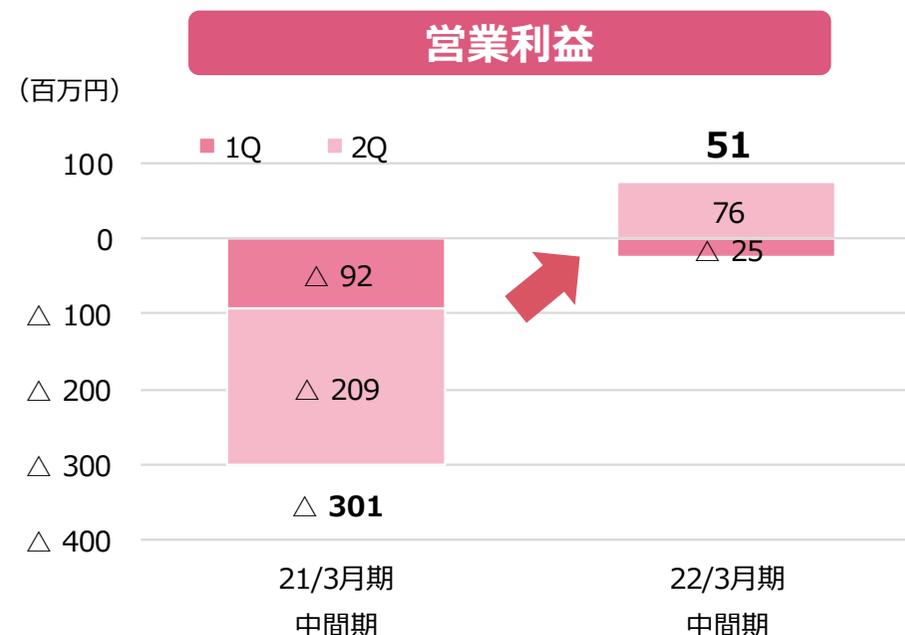
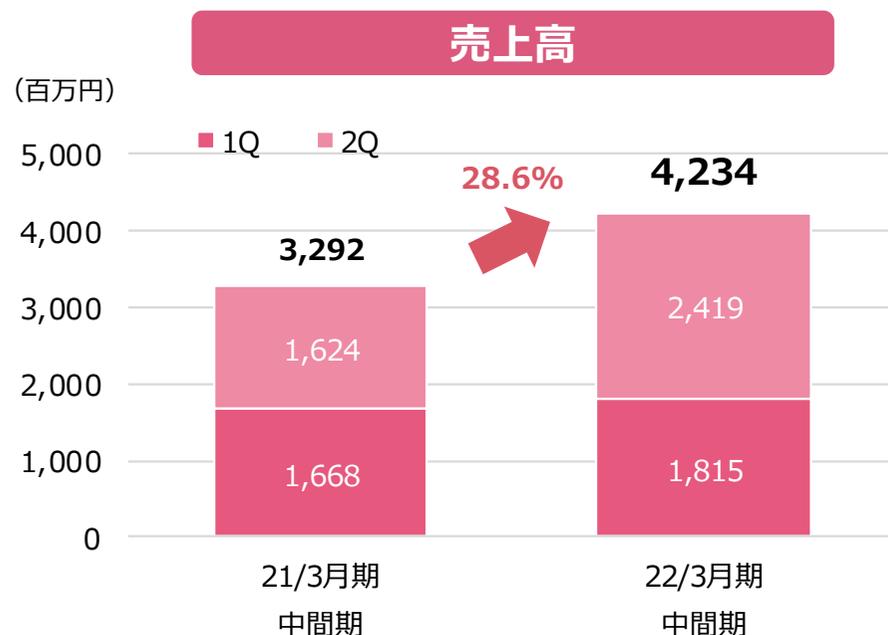
エネルギー用途



連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- 合成潤滑油、土木用薬剤は大幅に伸長
- IT・電子材料用途は堅調に推移

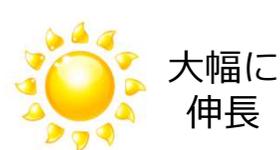
営業利益：増益

- 自動車産業分野の需要回復による売上高の大幅な伸長
- 研究開発の効率化による経費圧縮

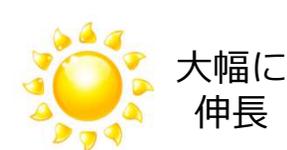
IT・電子材料用途



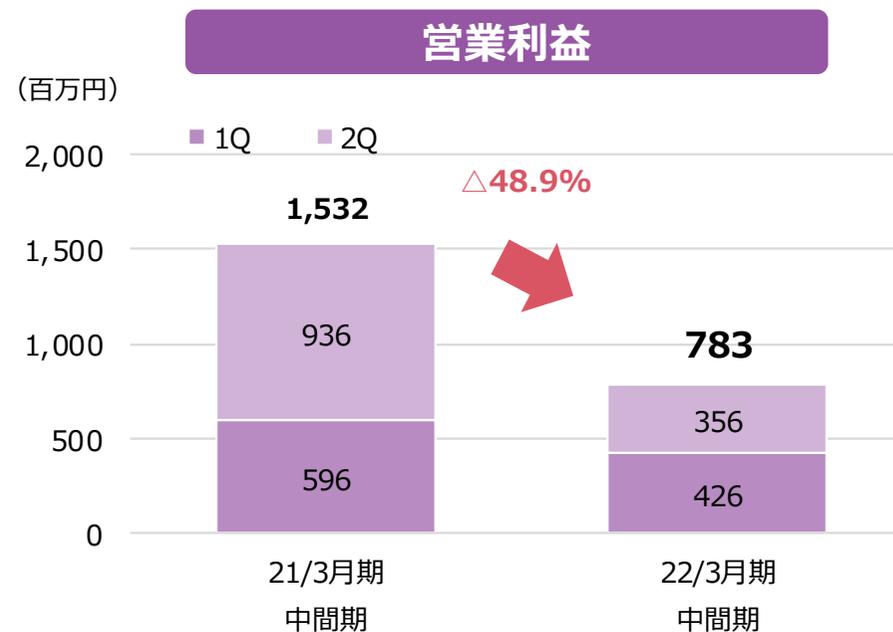
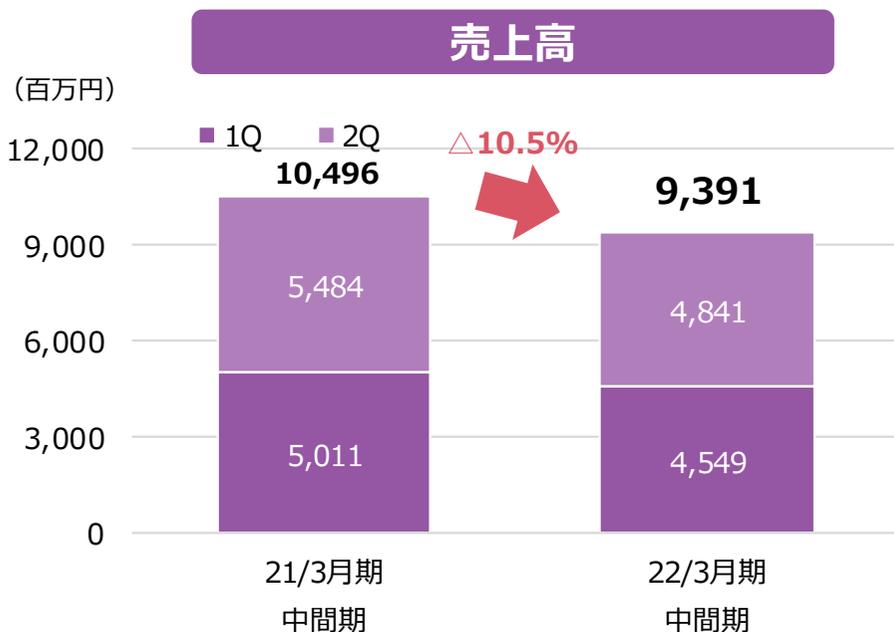
土木用薬剤:岩盤固結



合成潤滑油



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



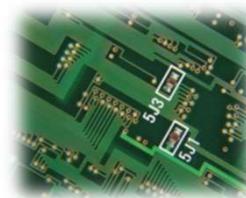
売上高：総じて大きく落ち込む

- I T・電子材料用途は大きく落ち込む
- 海外の難燃剤はゴム・プラスチック用途が大幅に伸長

営業利益：減益

- I T・電子材料用途の売上高が大きく落ち込む
- 研究開発費を中心に営業経費が増加

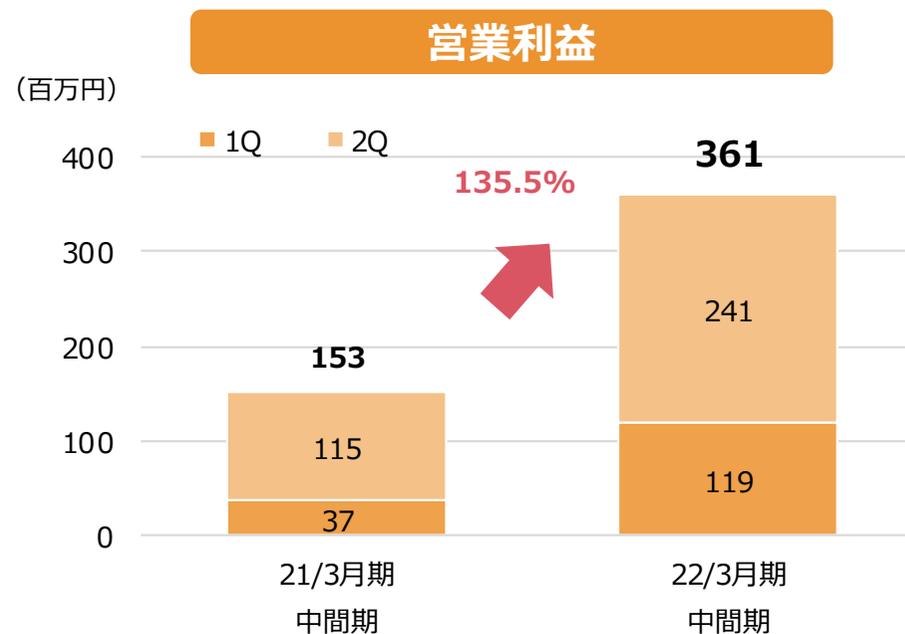
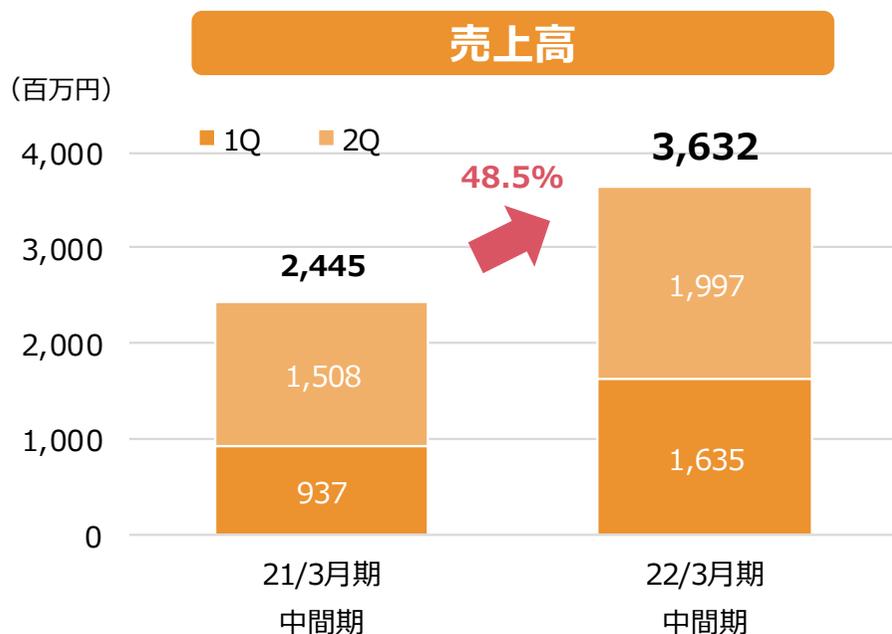
電子材料用途



プラスチック用難燃剤



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- ディ스플레이用途のイオン液体は堅調に推移
- 太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長

営業利益：増益

- 太陽電池用途の需要増加による売上高の大幅な伸長
- 営業経費の削減

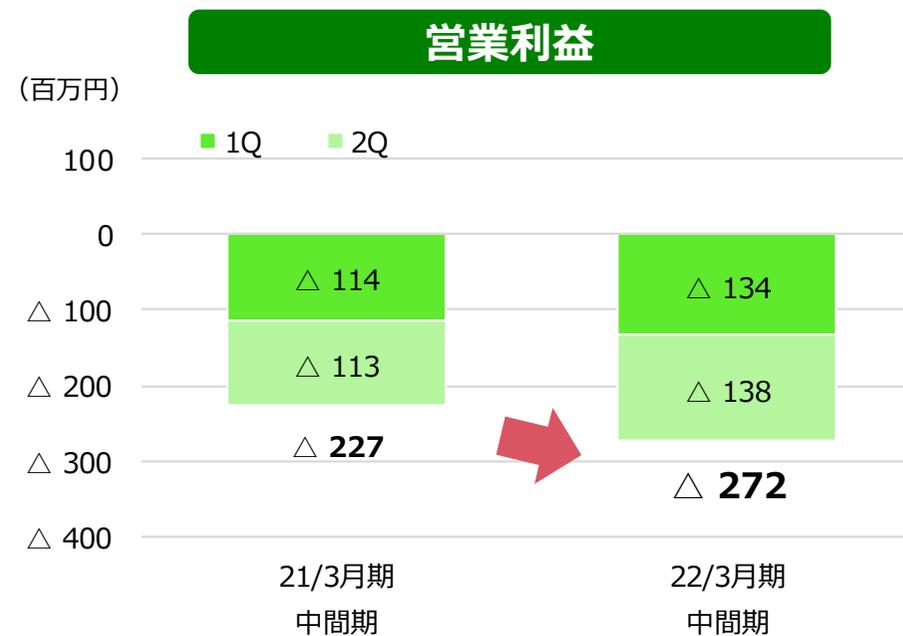
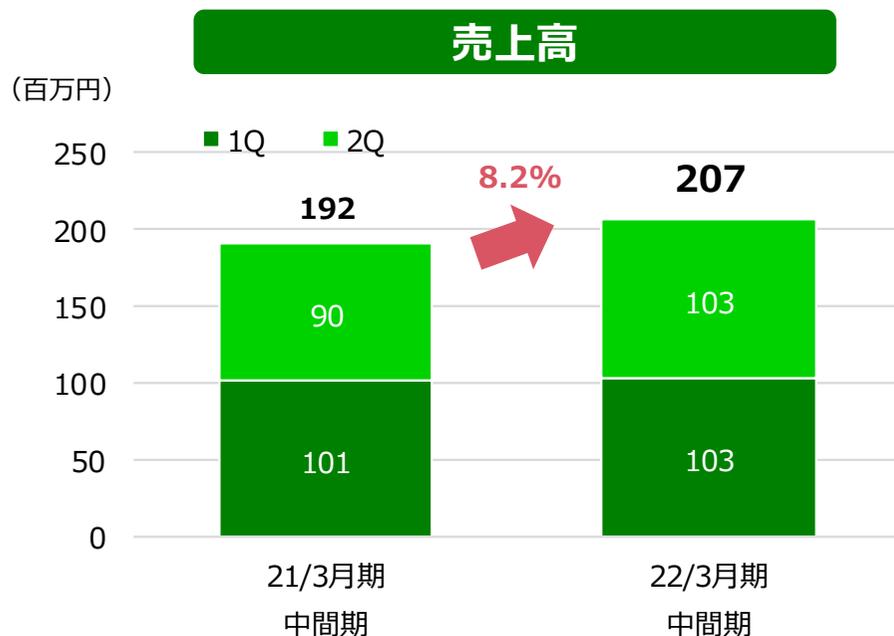
太陽電池用途



ディスプレイ用途



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- カイコ冬虫夏草の販売は堅調に推移
- 健康食品等の受託事業は堅調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高は伸長するも、営業経費がかさむ

冬虫夏草



健康食品等の受託事業



連結 連結比較貸借対照表の概要



(単位：百万円)

	2021年 3月末	2021年 9月末	増減額		2021年 3月末	2021年 9月末	増減額
流動資産	43,997	43,600	△ 397	流動負債	22,071	22,830	759
現預金	11,595	10,238	△ 1,357	仕入債務	9,827	10,575	748
売上債権	16,866	16,220	△ 646	有利子負債	7,296	7,280	△ 16
たな卸資産	13,248	14,495	1,247	その他	4,947	4,974	27
その他	2,287	2,646	359	固定負債	25,556	22,722	△ 2,834
固定資産	41,035	40,733	△ 302	有利子負債	24,809	21,982	△ 2,827
有形固定資産	34,317	34,199	△ 118	その他	747	739	△ 8
無形固定資産	833	734	△ 99	負債合計	47,628	45,552	△ 2,076
投資・その他の資産	5,884	5,799	△ 85	純資産	37,404	38,781	1,377
合 計	85,033	84,334	△ 699	負債・純資産合計	85,033	84,334	△ 699

連結 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

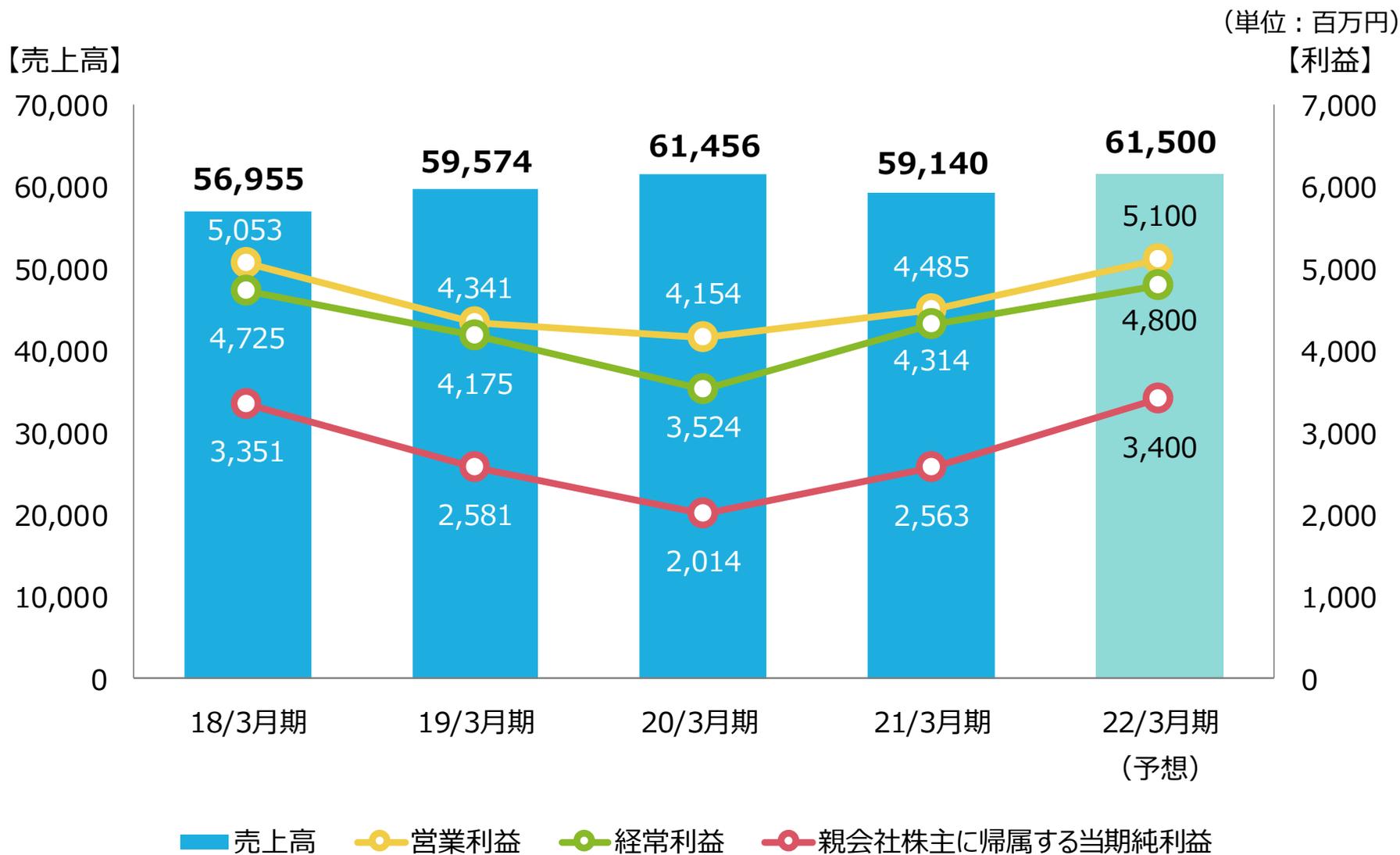


(単位：百万円)

	21/3月期 中間期	22/3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,543	3,049	1,506
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,090	△ 1,032	1,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	350	△ 3,447	△ 3,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	69	80
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 207	△ 1,361	△ 1,154
現金及び現金同等物の期末残高	9,919	10,170	251

2. 2022年3月期 業績見通し

連結 連結業績推移および予想



連結 セグメント別売上高予想



セグメント 単位：百万円	2021年3月期（実績）				2022年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期（実績）	下半期	通期	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	8,288	9,014	17,303	28	9,063	9,000	18,063	29	760	4
アメニティ材料	3,297	3,784	7,081	12	3,858	3,900	7,758	13	677	10
ウレタン材料	3,292	4,191	7,484	13	4,234	4,300	8,534	14	1,050	14
機能材料	10,496	10,581	21,077	36	9,391	10,062	19,453	31	△ 1,624	△ 8
電子デバイス材料	2,445	3,313	5,758	10	3,632	3,600	7,232	12	1,474	26
ライフサイエンス	192	243	435	1	207	250	457	1	22	5
合計	28,012	31,127	59,140	100	30,387	31,112	61,500	100	2,360	4

連結 セグメント別営業利益予想



セグメント 単位：百万円	2021年3月期（実績）				2022年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期	通期	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
界面活性剤	648	1,104	1,752	39	1,287	1,300	2,587	50	835	48
アメニティ材料	△ 27	99	72	2	237	250	487	10	415	576
ウレタン材料	△ 301	19	△ 282	△ 6	51	70	121	2	403	△ 143
機能材料	1,532	1,400	2,933	65	783	982	1,765	35	△ 1,168	△ 40
電子デバイス材料	153	277	430	10	361	330	691	14	261	61
ライフサイエンス	△ 227	△ 193	△ 421	△ 9	△ 272	△ 280	△ 552	△ 11	△ 131	31
合計	1,777	2,708	4,485	100	2,447	2,652	5,100	100	615	14

連結 DKSを取り巻く環境(市況)



分野	状況	上期	下期
自動車・二輪	半導体不足等の影響により、車両の在庫が低下し、多くの地域で納車までの期間が長期化。下期は海外のコロナまん延状況や半導体不足解消状況にもよるが回復基調と予測。		
インフラ (5G)	基地局設置は想定通り進んでいない。半導体不足に加え部材の価格高騰が継続。		
インフラ (リニア新幹線)	リニア中央新幹線工事は、市町村との調整が難航、またトンネル崩落事故の発生などの影響により停滞している。		
ディスプレイ	上期は好調を維持しているが、半導体不足の影響とパネルの在庫過多により、下期の需要が減少する見込み。		

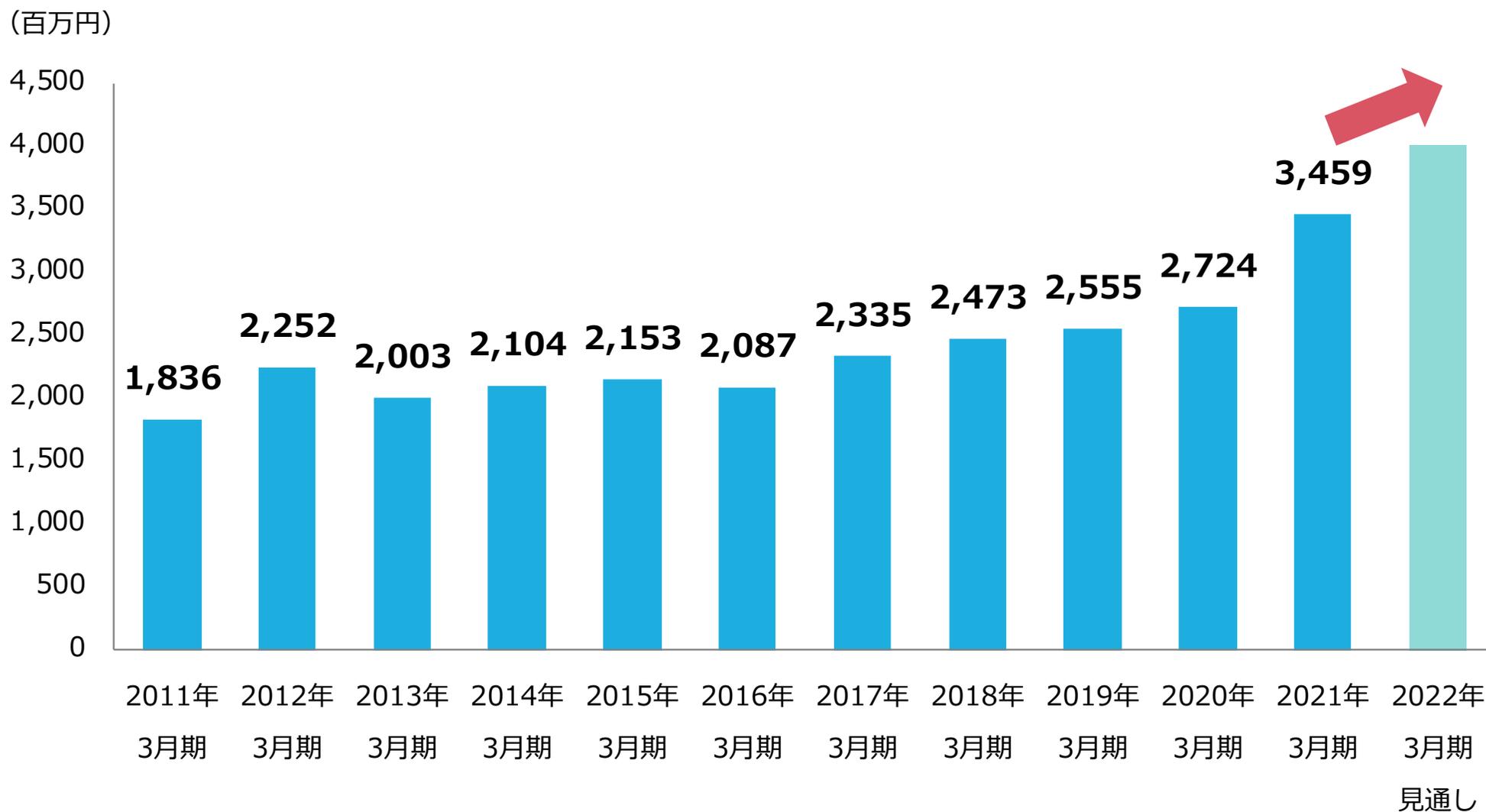
当社の抱える懸念事項

国産ナフサ、各種原料価格の上昇による収益性低下懸念

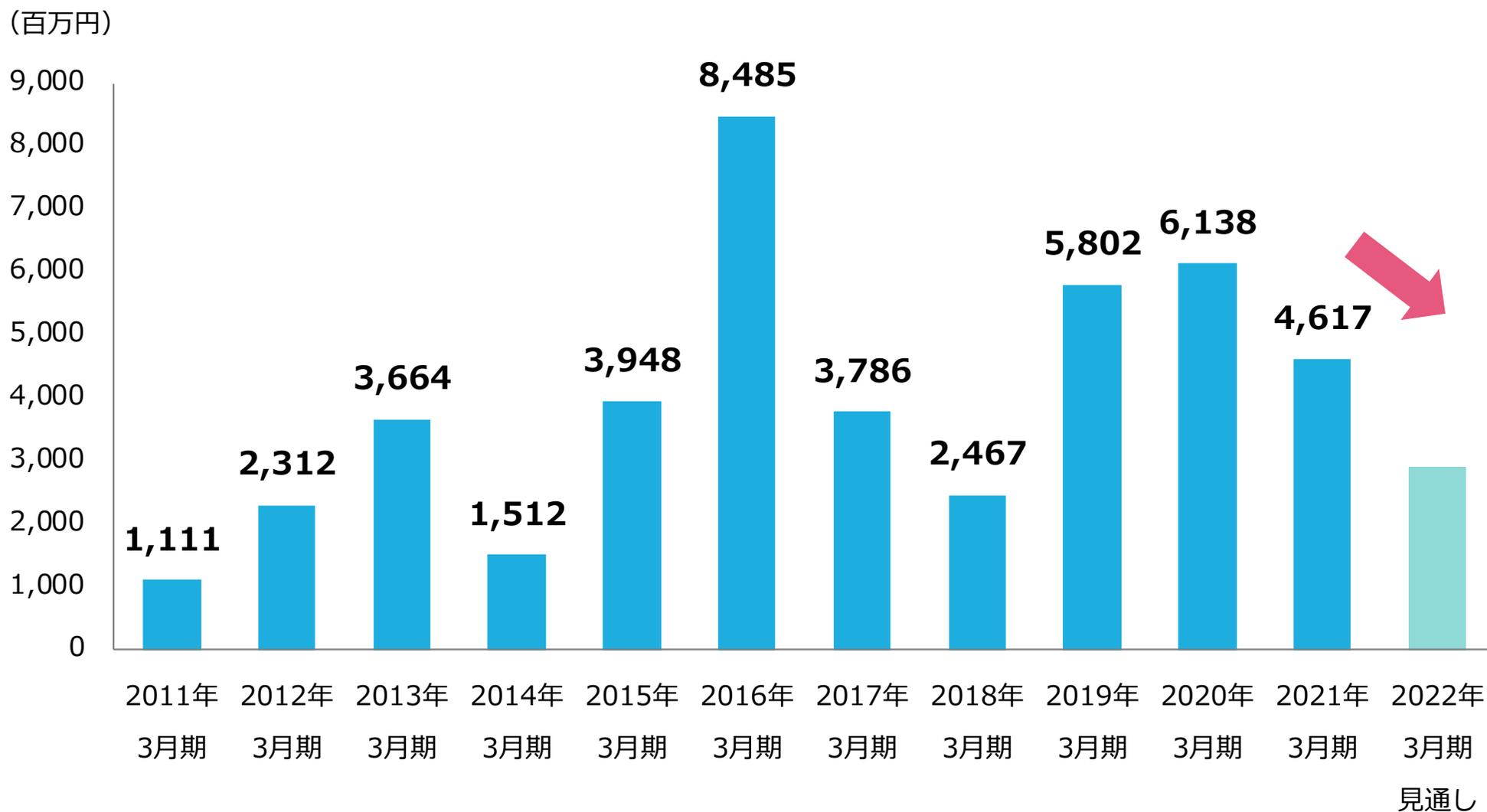
具体的な対策

- ①上期に引き続き、下期以降も採算是正を継続して実施
- ②原料価格上昇を、価格転嫁の迅速な実施で吸収
- ③インスパイアード・パートナーとの取り組み強化による新テーマ結実

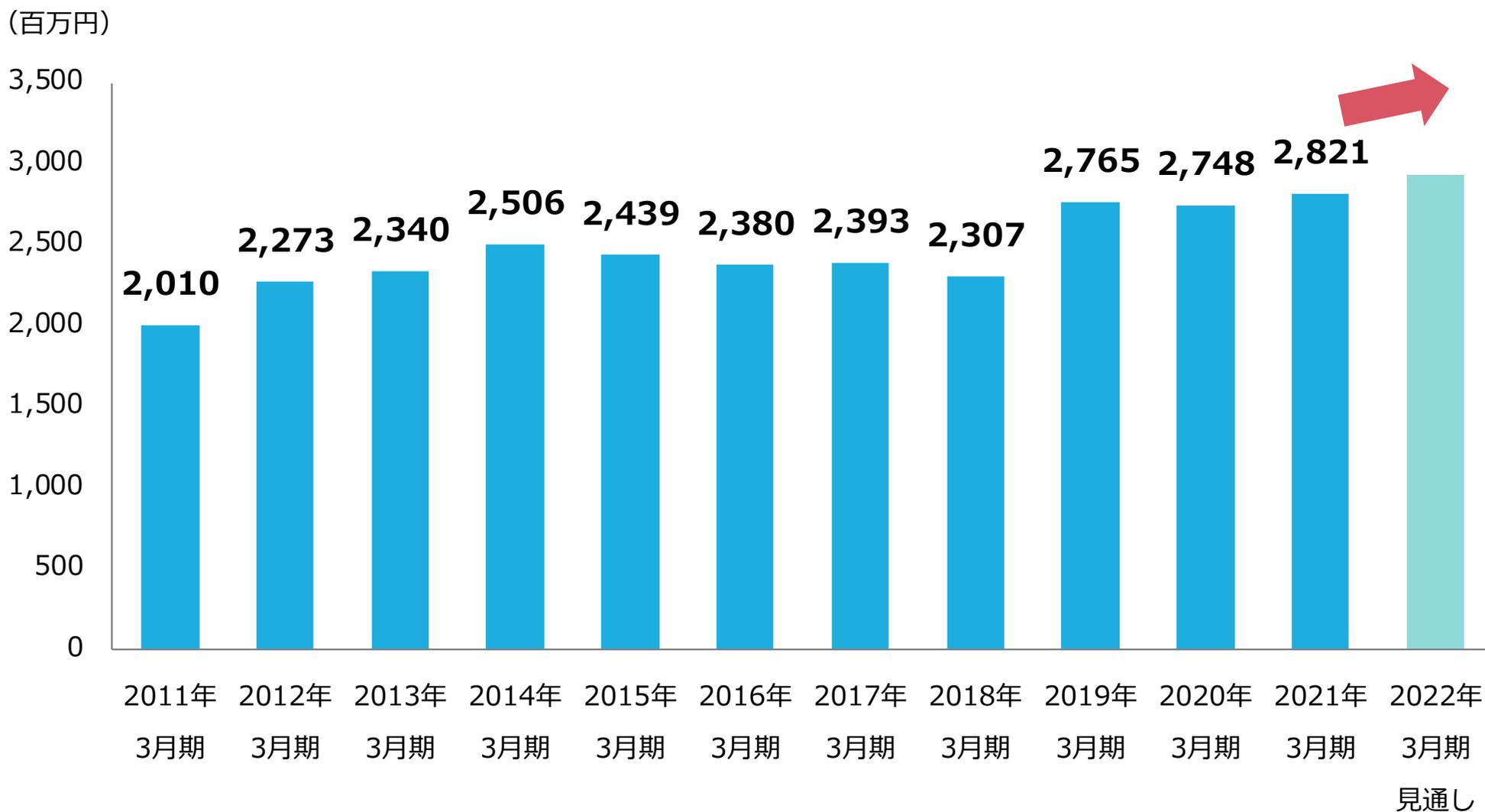
連結 減価償却費の推移



連結 設備投資額の推移

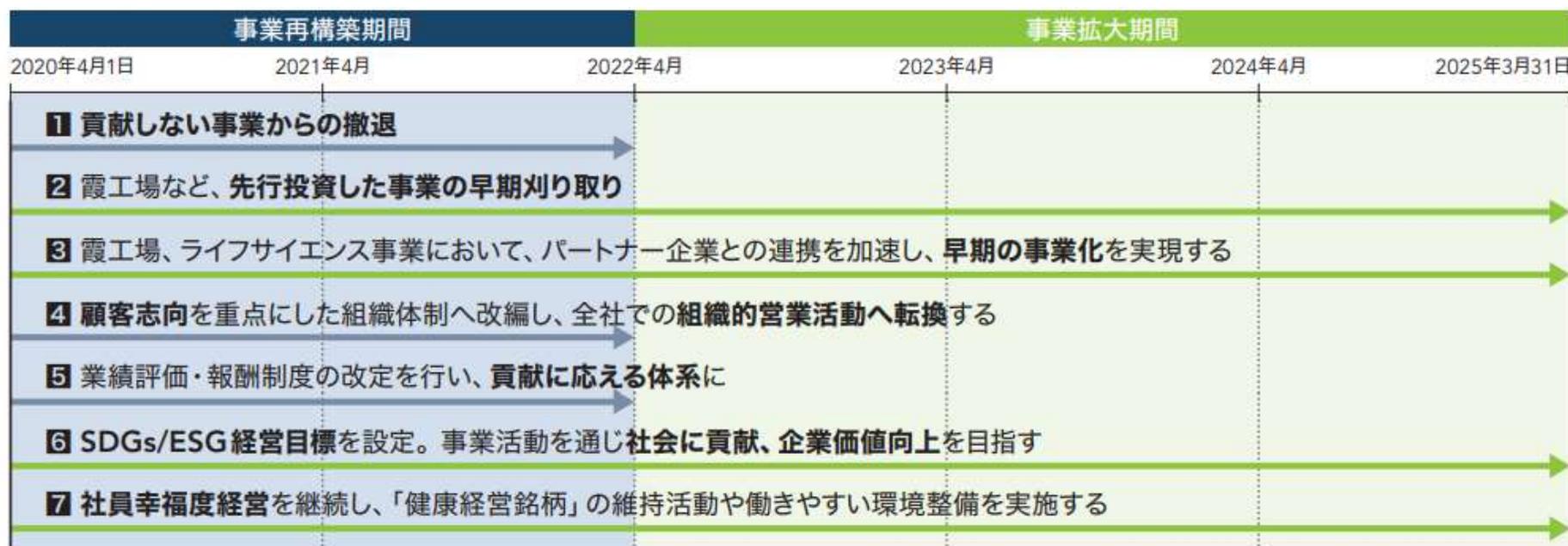


連結 研究開発費の推移



3. FELIZ 115計画の進捗とトピックス

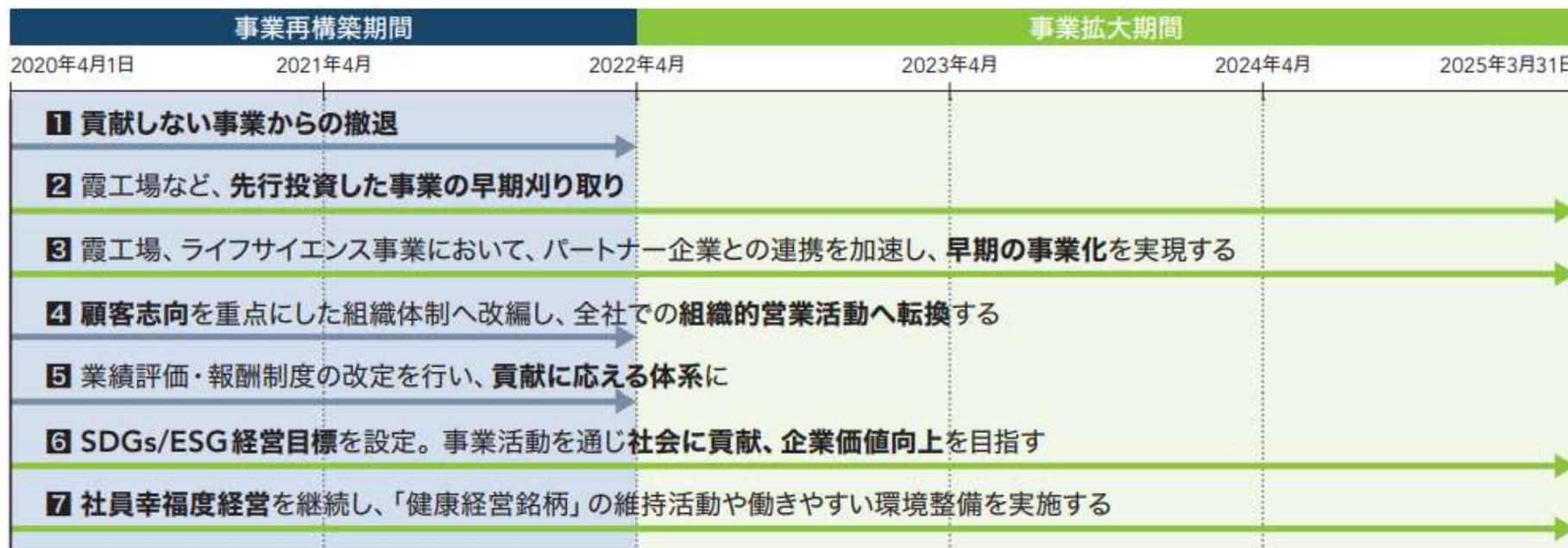
● 重点施策



FELIZ 計画開始から1年半

- 1 採算是正、撤退を含めたポートフォリオの見直しを行い、事業体制を整えました。
アクチャル事業の利益構造の改革を行いました。
- 2 四日市工場霞地区 第4プラントが稼働し、好調な需要に応じる増産が可能となりました。
- 3 社長直轄のライフサイエンス事業統括部を創設して2025年の100億円事業創設をめざします。
- 4 新規事業の着手と充実のため、利益採算性に重点を置いた研究組織に一新しました。
- 5 やったことが正当に評価される企業風土へ変革し、従業員の幸せを考えた人事評価制度をめざします。
- 6 広報IR室を社長直轄組織としてIR活動を強化し、ステークホルダーとの対話を強化します。
業務支援グループを新設し、障がい者雇用を促進します。
モンゴル等出身の外国人材を積極的に雇用し、ダイバーシティの推進を図りました。
- 7 「健康経営銘柄2021」に2年連続で選定されました。
「健康経営優良法人2021～ホワイト500～」に4年連続で認定されました。
「スポーツエールカンパニー」に2年連続で認定されました。
「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」で4年連続で最高ランクを取得しました。

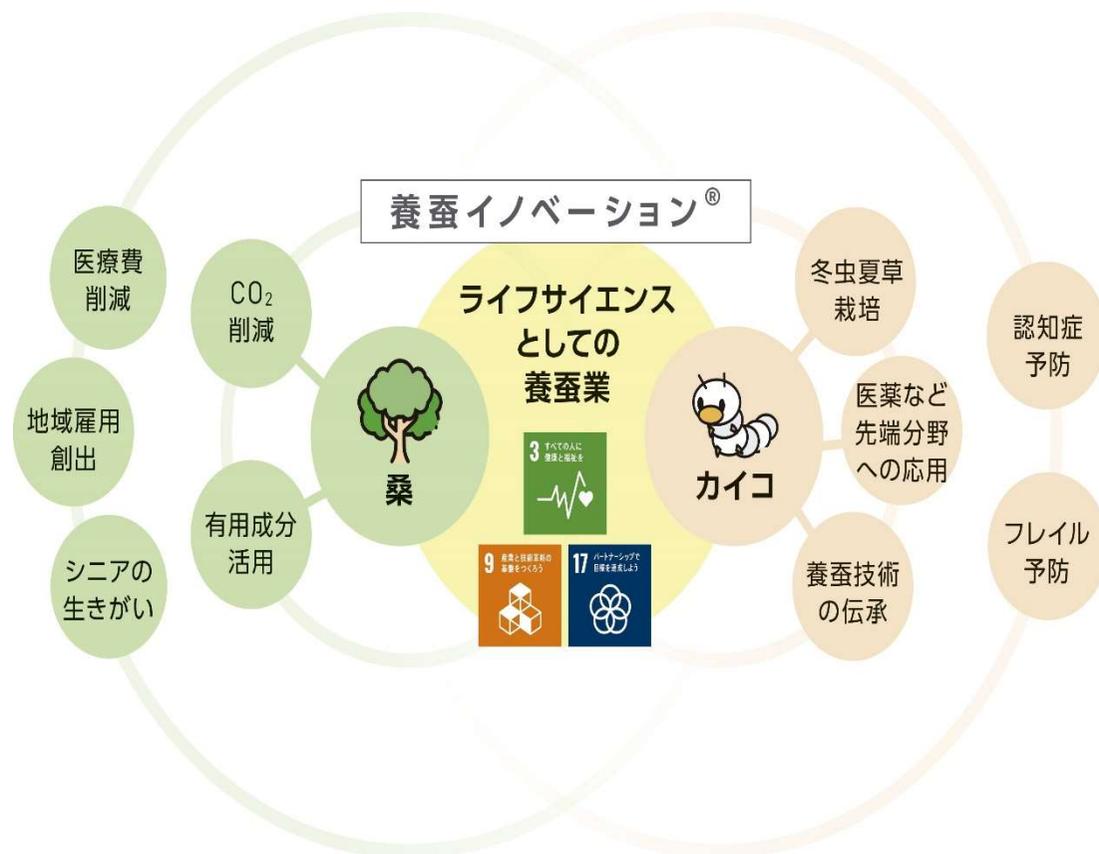
● 重点施策



FELIZ 計画開始から1年半

- | | |
|---|---|
| <p>1 予定通り進行中。</p> <p>2 光硬化樹脂用材料低調により稼働率低下。</p> <p>3 新体制でブランディング、webコンテンツや販売ツールを構築中。メディア露出を上げ、関連製品も開発中。</p> <p>4 研究体制一新。顧客課題を優先にユニ・トップ戦略に即したテーマヘシフト。</p> <p>5 係長以下一般職で業績連動新体系のトライアルを実施。</p> | <p>6 ・web説明会、面談を導入し、コロナ禍でもIR活動を活発に実施。
 ・業務支援Gを新設し障がい者活躍の充実を図る。
 ・養父市と包括連携協定締結。
 ・バイオ原料、Co2削減に向けた取り組み開始。</p> <p>7 ・健康経営銘柄維持のための活動を継続中。
 ・健康アプリ導入、ウォーキングイベント、体ゆがみ改善セミナーの実施、階段ステッカー・歩幅スケール、姿勢チェックミラーの設置などの活動を実施。</p> |
|---|---|

兵庫県養父市と包括連携協定を締結



当社は兵庫県養父市と地域創生に取り組む包括連携協定を締結しました。

「養蚕イノベーション®」を通して、2030年の人類の目標、SDGsに貢献することが目的です。まゆがつなく、命と地域の巡り合いを大切にします。

本協定では相互の人的、知的資源の交流や物的資源の活用を図り、豊かな価値の創造に力を注ぎます。

※「養蚕イノベーション®」は当社グループ会社バイオコクーン研究所の登録商標です。
当社グループは、純国産のカイコ冬虫夏草を原料とする健康食品を開発・製造・販売しています。

カイコ冬虫夏草やSudachin®などJR京都伊勢丹にて特別販売



2021年7月28日～8月3日、9月22日～28日、
11月10日～16日で催事を実施。
次回は、2022年1月5日～11日を予定。

当社ライフサイエンス事業の主力製品
「カイコ冬虫夏草」「Sudachin®」※
「すだち製油」を、百貨店で特別販売し
ました。

和菓子SPOTの特設コーナーに並べた
各商品は多くのお客さまの関心を集めま
した。「夏草の京手鞠(冬虫夏草入り京飴)」、
「冬虫夏草クラフト珈琲」も好評でした。

※Sudachin®錠は四国健康支援食品制度
(愛称:ヘルシー・フォー)の認証商品です。

デンソーウェーブとカサイ製作所と包括連携協定締結



ラボラトリーオートメーションのイメージ
(写真提供：デンソーウェーブ)

当社は、(株)デンソーウェーブ、(株)カサイ製作所と、ラボラトリーオートメーション(LA)実現のための包括連携協定を締結しました。

「ロボット」や「デジタル機器」など実用的なLAで国際競争力の高い研究環境の構築と、技術力の向上および発展を目指し、相互理解と連携を進めます。

それぞれの企業が保有するシーズとニーズの情報、ノウハウなどを用いて、お客さまへのソリューション提供を加速化を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR室 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp